

投資事業評価調書 (新規・継続)

部 局 課 室 名	教育委員会事務局 特別支援教育課	記 入 者 職 氏 名	特別支援教育課長 小俣 千智 (副課長兼教育推進班長 吉山 雄二)
--------------	------------------	----------------	--------------------------------------

1 事業の概要

事業名	県立阪神特別支援学校の増築	総事業費 (概算)	276,612千円
		R2年度当初 予算計上額	276,612千円

所在地	西宮市田近野町11-7		
事業目的	<p>「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」の課題及び国の動向を踏まえ、「第三次推進計画（平成31～令和5年度）（5年間）」を策定するに当たり、改めて児童生徒数を推計したところ、知的障害特別支援学校在籍児童生徒数は今後も増加傾向であり、特に狭隘化の著しい阪神地域の特別支援学校への抜本的な対応が必要となった。</p> <p>阪神特別支援学校では、児童生徒数の急増に対応するため、これまで、①特別教室の普通教室への転用、②武庫荘総合高校への分教室の設置などにより教室確保に努めてきた。これ以上の児童生徒数の増加は教育活動に支障をきたすため、阪神特別支援学校敷地内に校舎を増築する。</p>		
事業内容	<p>1 概要</p> <p>整備場所 阪神特別支援学校 南グラウンド</p> <p>延床面積 約1,800㎡</p> <p>施設構造 鉄骨造</p> <p>2 整備内容</p> <p>普通教室 約1,000㎡ (20教室)</p> <p>職員室 約200㎡</p> <p>廊下等 約600㎡</p> <p style="text-align: right;">計 約1,800㎡</p>		
事業スケジュール	令和2年4月～	実施設計	
	8月～	建設工事	
	令和3年4月	供用開始	

2 基準に基づく評価

項目	説 明
必要性	<p>阪神特別支援学校は、設置当初の想定児童生徒数(252人)の約1.3倍の児童生徒が在籍しており、年々増加する児童生徒への対応として、①特別教室の普通教室への転用、②武庫荘総合高等学校への分教室の設置を行っている。</p> <p>今後も引き続き児童生徒の増加傾向が続くことが見込まれているため、早急に狭隘化を解消する必要がある。</p>
有効性・効率性	<p>校舎を増築し普通教室を確保することで、現在普通教室に転用している特別教室の一部を本来の用途に戻すことができる。また、増築する校舎に職員室を設けることで、現在の職員室の執務環境を改善することができる。</p>

環境適合性	<p>建築部材等において可能な限り省エネ化を図ることで環境に配慮するとともに、施設の維持管理に要するエネルギー使用料の抑制・効率化を図る。</p> <p>(1) 照明に LED 灯や人感センサーを導入</p> <p>(2) 効率的な空調設備の導入 等</p>
優先性	<p>知的障害児童生徒の増加が続いており、特に阪神地域の特別支援学校の学校規模が過大化していることから、本県としても早急に対応することが求められている。</p> <p>阪神特別支援学校は今後も引き続き児童生徒の増加傾向が続くことが見込まれているため、敷地内に校舎を増築することで、早期に狭隘化の解消されるとともに、教育活動の充実を図る</p>

3 審査会意見

審査会意見	<p>事業の必要性、有効性が認められ、整備することは妥当である。</p>
-------	--------------------------------------